

e シンキング (ひとづくり広域連合政策情報メルマガ) 第 24 号  
2006 / 10 / 16 発行 (月 1 回発行)

各職員に、転送または配布をお願いします。

【 目 次 】

今月のトピックス 「マザーズハローワーク」  
私の選んだこの 1 冊 「格差社会 - 何が問題なのか - 」  
( 橘木俊詔著 / 岩波新書 )

広域連合からのお知らせ

《投稿募集》政策情報誌「Think - ing」第 8 号  
特集テーマ論文・事例募集中！！

今月のトピックス

- - - 「マザーズハローワーク」 - - -

昨年 12 月、政府は子育てのために退職した女性を対象に、再就職や起業を支援する「女性の再チャレンジ支援プラン」をまとめ、それを受ける形で今年 4 月より、全国 12 か所で「マザーズハローワーク」をオープンさせました。

これまでのハローワークにはなかった、キッズコーナーやベビーチェアの設置等子供連れで来所しやすい施設になっており、また、子供と一緒に職業相談が行える十分な相談スペースを確保するなど、利用者の立場に立ったレイアウトで気軽に来所できる環境となっています。

さらに、地方公共団体などの子育て女性を応援する関係機関から保育所や子育て支援サービスなどの情報や、子育ての支援に熱心な事業所についての情報の提供、また、就職希望者のニーズを踏まえ、担当者制によりきめ細かなマッチングを行い、退職前のキャリア等を考慮した相談によって個人の希望や家庭状況に応じた就職実現プランを策定することとしています。

また、育児等を理由にいったん家庭に入り、学習が困難である女性が希望に沿った再就職等を実現できるよう、IT やコミュニケーション能力に関する講座を開設したり、スキル低下を防ぐため、インターネット等を活用して家庭にお

いて必要な知識技能等を学習できるような環境を推進しています。

このマザーズハローワークは、子供を抱えながらも「働きたい」という母親のニーズと、出生率の低下による人口減少、団塊世代の大量退職による労働人口減への不安を解消したい政府のニーズとが一致した施策であると思います。

( B )

-----  
私の選んだこの1冊

- - - 「格差社会 - 何が問題なのか - 」( 橘木俊詔著 / 岩波新書 ) - - -

まず、筆者は格差の現状について、絶対的貧困率(生活していけない程度の所得しかない人の割合)、生活保護受給世帯、貯蓄ゼロ世帯、自己破産、ホームレスの数などの統計データを、国際比較した上で、日本では不平等が拡大し、貧困が深刻さを増しているとしています。

その要因として長期不況による失業の増大、非正規雇用の増大、また小泉内閣が押し進めてきた構造改革による規制緩和や競争促進等を挙げています。小泉元首相が「格差はどここの社会にもあり、格差が出ることは悪いことではない」と国会で述べていますが、経済効率のためには格差拡大はやむをえないのかについて、筆者は、機会の平等性が達成されることが、むしろ経済の効率性を高めるとしています。

そのためには、低所得労働者の若者の代表であるフリーターに、公共部門が職業訓練を施し、一人前の労働者にするような対策が必要だとしています。併せて教育の機会を奪われないために、奨学金制度の充実、公教育改革、職業教育の体制を整えることを挙げています。

日本では「小さい政府」論により、政府の役割をもっと小さくすることが主張されています。しかし、筆者は、国際的に見て日本の税負担率及び社会保険料は最低レベル、社会保障の還元も最低レベルという「低福祉・低負担の国」となっており、さらに政府の役割を小さくすることにより、格差が拡大し、セーフティネットが削減される一方であれば、国民が日本で安心して暮らしていくことができなくなるとしています。

本書において、日本における格差が拡大している現状について、様々な統計・データに基づいた検証がなされており、その積み重ねが示される中で、格差は社会構造全体に関わる問題であると感じました。また、新しい貧困層とは、どのような世帯なのか、どうして貧困層が増えていくのか、その原因は何か、などについて、客観的なデータに裏付けられた具体的な説明がなされています。

地方自治体にとって、格差社会・貧困は、重要な問題ですが、それをわかりやすく理解させてくれる一冊です。(江)

=====  
広域連合からのお知らせ

政策情報誌「Think - ing」第8号 特集テーマ論文・事例募集中!!

第8号の特集テーマ

【新たな公共経営を考える - さらなる「地域資源」の有効活用を目指して - 】

自治体を取り巻く様々な経営資源を「地域資源」と位置づけ、さらなる地域資源の有効活用を図ることにより、これからの時代に求められる公共経営の姿を探ろうとするものです。

つきましては、この特集テーマに関する論文・事例を募集します。特集テーマに沿う内容であれば、事業の大小は問いません。

また、この政策情報誌に掲載する特集テーマ以外の論文等も、引き続き募集していますので、よろしくをお願いします。

詳しくはこちらをご覧ください

<http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/81sien/01/08/appli/thesis.htm>  
=====

今月より一部リニューアルしました。今月号より、「今月のトピックス」は毎月掲載、「政策研究の紹介」「私の選んだこの1冊」「つたえるゾウ！（名称を「現場レポート」に変更）」については各号で1つ以上を取り上げていきます。皆さんに親しみを持って読まれるよう、内容を充実し、気軽に読みやすいメルマガを目指していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

ご意見・掲載希望

今月号のeシンキングはいかがでしたか？ご意見ご感想がありましたら下記担当までお寄せください。また、各コーナーで皆様からの参加レポート、情報提供を随時募集しています。「これは記事になるかな？」というものがありましたら、お気軽にご連絡ください。

[ eシンキング / 毎月15日発行 ]

発行元

彩の国さいたま人づくり広域連合 政策管理部（小澤・江森）

〒331-0804 さいたま市北区土呂町2-24-1

TEL:048-664-6681 FAX:048-664-6667

WebPage: <http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/>

E-Mail: [jinzai03@hitozukuri.or.jp](mailto:jinzai03@hitozukuri.or.jp)

=====